

小規模多機能型居宅介護

令和元年度 「サービス評価」公表資料

たきのーほーむ



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 14日 (17:30~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	0	5	1	0	6
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	4	1	0	6
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	5	0	0	6
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	5	0	0	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 利用開始前の情報をもとに支援へと繋げていくように話し合いを行っています。連絡ノートを通じて情報収集を行い、訪問時・送迎時・配食時を通じて得た情報をスタッフに伝達している。
 利用したての利用者様には、コミュニケーションをとりながら本人の思いや、願いを聞き出せるように関わっています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ご本人やご家族・介護者周囲の困りごとを受容はできているが関係づくりのための配慮が難しい。
 朝のミーティングの前に各自送迎に出発する事もあり、情報の共有が出来ていない点がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 「言葉が足りなかった」「受け手の解釈が違った」等コミュニケーションが不十分である為、コミュニケーションスキルをあげる努力が必要。情報を共有しようとする認識不足がありチームワークから外れ、個人プレーで開始してしまう事があり、情報を共有しなければならない事を周知する必要がある。
 本人様・ご家族様との関わりを大切に、信頼関係の構築を行う。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2 年 1 月 14 日 (17 : 30 ~ 19 : 30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	4	2	0	6
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	3	2	0	6
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	3	2	0	6
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	3	2	0	6

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
日々の会話の中から、意識的に利用者の思いを知りたいと思っている。ご本人の思いを把握しかかわる時間を取るように心がけています。食事の時間や、嗜好、入浴等はご本人に確認しながら支援しています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「～したい」が、把握できている方と、できていないご利用者様がいる。当初は、「今日はどうしますか?」「何をしたいですか?」と、来初時に確認していたが、日々の流れ職場の状況が業務優先の日があり「本人の思い」に寄り添っていない。その時々事情により、本人の思いに添えていない事がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者様が、「何がしたいか・思いは何か」を日々の関わりの中から、お聞きし職員間での情報の共有を行う。「～したい」が実現できる様行動する。スタッフ同士、意見を出し合えて言える関係づくりを行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月14日 (17:30~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか？	0	1	4	1	6
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	1	5	0	0	6
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	5	1	0	6
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	2	4	0	0	6
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	0	6	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
気づいたことがあった場合、相談し対応を共有しあえている。体調の変化はミーティング等で共有できている。又、ご家族様にも相談、報告できている。支援もできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
「以前の暮らし方」が10個以上の把握ができていない。本人の状況に合わせた支援に関しては、極力合わせてはいるが、どうしても偏ってしまう事がある。強く言える人が融通されやすい。思いを聞いていても、行動に起こせていない時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
以前の暮らし方を10個以上言えるようになるために、その方を知る必要がある。体調の変化に関しては、通常のその方の通常の状態を把握する。通常よりもどうかを見ていく。(血圧も低い人もいれば高めの方もいる。) スタッフ同士で情報を共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月14日 (17:30~19:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	3	2	0	6
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	1	0	6
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	0	3	3	0	6
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	3	3	0	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ご家族様にも協力を得ながら利用者様の日々をその人らしく生活していける様に支えている。また、送迎時・電話等で困ったことがあった際には、相談してもらえいる状況は作られている。利用者様の生活してきた「地域」のイベントやお祭り、初詣等に出掛けている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ご自宅での生活で、事業所が接していない部分をどのように過ごしているのか把握できていない。地域の社会資源も把握していない。地域の民生委員の方がどなたなのかわかっていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
利用者様の地域を知らない事が多く、スタッフ同士でどのようにして知って行くかを話し合っていく。地域の方にも協力をしていただく時にも色々な事を知る必要がある。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月 14日 (17:30~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	0	5	0	6
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	3	1	1	6
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	1	4	1	0	6
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	0	4	2	0	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
夕方のミーティングでご利用者様の変化について職員間で共有している。その日その時のご本人の状態に合わせて柔軟な支援が出来ている。馴染みの場所や、なじみの店、馴染みの人等、その方との関わりがあった所や人とのつながりを途切れないように支援しています。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
資源の整理が出来ておらず、まだまだその方の資源が把握できていない。利用状況で、本人の意に沿っていない事がある。本人は「家にいたい」「食べたい」等。家族との調整が出来ていない事がある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
資源マップや以前の暮らし、アセスメントでの馴染みの場所・馴染みの店・馴染みの人を多く知る必要がある。利用者様との関わりから本人の言葉を記録に残し、思いや気持ちを理解し、実践していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月 14日 (17:30~19:30)

6. 連携・協働

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
① その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?	0	0	4	2	6
② 自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	0	2	4	6
③ 地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1	4	1	0	6
④ 登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	2	0	0	6

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
施設内に駄菓子屋があり、子供から高齢者まで色々な方が来てくださっている。ヤギも飼っていて、餌やりや見学・小学生が写生に来たり幼稚園児が慰問に来て下さる。地域の活動やイベントに参加させて頂いている。弘和会は、研修に参加することができる様スタッフのシフトも柔軟に作成している。研修に参加して、キャリアアップしていけるシステムとなっている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
サービス機関や自治体、包括支援センターとの会議に参加していない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
開所して1年なので、地域の会合や、自治体・包括支援センターとの会議には、管理者が参加しているが今後、他のスタッフも同席していけるようにしていく。会議の内容や、どのような会議があるのかを知っていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月 14日 (17:30~19:30)

7. 運営

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	0	3	2	1	6
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	3	1	1	6
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	4	1	1	6
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	4	1	1	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 意見や苦情などは、否定せずに真摯に受け止め上司に報告する事が出来ている。地域の方の来初時や行事に参加した時は明るい施設の雰囲気での対応を心掛けている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 意見を言う事は出来ていない。地域と協働した取組みをできていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域の中に溶け込んでいける様、取組みを行う。地域の中に私たちから溶けこける工夫をしていく必要があります。待つばかりではなく地域に出向き地域を知ること。具体的には、地域の方々に意見を聞くご意見箱を駄菓子屋に設置する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年1月14日 (17:30~19:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	5	1	0	0	6
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	2	0	0	6
③	地域連絡会に参加していますか	0	5	0	1	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	0	4	2	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職場内・職場外の研修は参加している。スキルアップのための研修 (外部) には、積極的に参加でき通いる。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域連絡会がいつ開催されているのか情報不足と開催後の具体的な内容を把握していない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 研修の充実と参加し実践していく。リスクマネジメントの勉強会を通して、ヒヤリハットの重要性を学ぶ。スタッフそれぞれが、リスクマネジメントの考え方ができるよう、朝礼・夕礼の時に話し合いを持つ。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 2年 1月 14日 (17:30~19:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 平野・土井・宮永・山岸・刈阿曾・関軒

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?					

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	5	1	0	0	6
②	虐待は行われていない	6	0	0	0	6
③	プライバシーが守られている	3	3	0	0	6
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	2	1	6
⑤	適正な個人情報の管理ができています	3	3	0	0	6

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
ほむの玄関の鍵はかけず、又、身体拘束・虐待は行われていない。記録物は、おおまかなものは、管理できている。プライバシーを守り、個人情報の管理はできている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
成年後見人制度がよくわからない。知識不足。身体拘束はないが、無意識にスピーチロックをかけている事があるかもしれない。自信がない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用者の訴えにすぐに対応できない場合は理由を説明し理解して頂き後に対応する事 個人情報のバインダーは、見たら鍵のかかる棚に戻す。3つのロック・ドラッグロック・フィジカルロック・スピーチロック。もっとも行ってしまうのは、スピーチロック、その方の行動を妨げる声掛けには言わないよう気を付けていく。「ちょっと待って・・・」等、今いけない理由を話し、納得していただく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	代表者	理事長 畝 和弘	法人・事業 所の特徴	1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。 3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。 4.認知症キャラバンメイトの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについての研修の講師をさせていただきます。 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って生き生きできる時間を大切にします。
事業所名	福の神 サテライト 風和里	管理者	森川 みなこ		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	6人	0人	1人	1人	0人	4人	0人	16人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認			・まだ開設して1年なので、分からない部分がある。	・風和里での活動報告や地域での役割等、もっと伝えていく。
B. 事業所のしつらえ・環境			・施設の中がどのような仕組みになっているのか分からないところがある。	・事業所の中の細かな説明をしながら見学していただく。ほ一むに気軽に来れるよう工夫をしていく。
C. 事業所と地域のかかわり			・地域のイベント等の参加は良いことだと思う。	・まだまだ地域の中に溶け込んでいけないので、地域に出向き顔馴染みの関係ができるよう関わりを持つ。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み			・在宅での支え方を具体的に知りたい。	・在宅で暮らしていくための小規模多機能を理解していただけるよう説明し、事例等を報告していく。
E. 運営推進会議を活かした取組み			・地域での支え合いをどのようにしていったら良いのか一緒に取り組んでいけたら良いと思う。	・運営推進会議で話されたことは、スタッフ全員で共有していき、地域の意見も取り入れていく。
F. 事業所の防災・災害対策			・防災・災害対策も大事なことなので、どのようになっているのか。	・防災計画を運営推進会議で、お伝えし理解を得る。災害時の避難場所をスタッフ全員が把握する。